

1年	科目	古典	講義	前期または後期	担当	小村 宏史
全学科共通		Japanese classical literature	必修	1履修単位		OMURA Hiroshi
授業の概要						
<p>古典を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって、自らの人生を豊かにする態度を育てる。</p>						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)		実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)			
授業目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な古典文学作品およびその関係人物などについて、文学史上の位置づけを理解し、説明できる。(教養としての文学史知識) ・古典を読み、そこに描かれたものの見方や感じ方に興味・関心を広げることができる。(関心・意欲・態度) ・古典に描かれた人物、情景、心情について、文章表現に即して正確に読みとることができる。(読解力) ・古文・漢文特有の語彙・語法を理解できる(語彙・語法) 						
授業計画						
第1回	古文入門	古文の言葉とかなづかい				
第2回	古文入門	説話(『今昔物語集』)				
第3回	平安期の古典	日記・和歌・物語				
第4回	平安期の古典	日記・和歌・物語				
第5回	平安期の古典	日記・和歌・物語				
第6回	平安期の古典	日記・和歌・物語				
第7回	平安期の古典	日記・和歌・物語				
第8回	中間試験					
第9回	鎌倉期の古典	軍記物語				
第10回	鎌倉期の古典、文学史	軍記物語、古典文学史総確認				
第11回	漢文入門	訓点				
第12回	漢詩	唐代の絶句・律詩				
第13回	史書	史話(『十八史略』)				
第14回	思想	諸子百家				
	期末試験					
第15回	まとめ	知識の総確認・授業アンケート				
評価方法 と基準	2回の定期試験の平均得点を70%、平常点(受講態度、小テスト、提出物)を30%の重みとする。総合評価60点以上をもって単位取得とする。					
教科書等	『国語総合 古典編』(東京書籍)、『最新国語便覧』(浜島書店)、プリント(適宜配布)、古語辞典					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					